

家庭裁判所調査官インターンシップ実施報告書

宮崎家庭裁判所

令和元年9月2日(月)宮崎家庭裁判所において家庭裁判所調査官インターンシップを開催し、5名の学生の皆さんが参加しました。

当日の様子や参加者の皆さんの感想を時間を追ってご紹介します。

9時50分

講義「家庭裁判所調査官の仕事」

現役の家庭裁判所調査官(以下調査官と表記)が、“ある調査官の1日”を説明しました。

皆さん、熱心に耳を傾けていました。



10時10分

少年事例検討

万引きの模擬事例を題材に①少年が非行に至った原因や背景、②それをどのように調査していくか、③再非行を防ぐための働きかけはどうかを調査官と一緒に考えました。



皆さんの感想は……

事例検討は難しいと感じる点も多かったけれど、自分と他の人の意見の違いを知ることができてとても楽しかった。

11時50分

庁舎見学



少年審判廷



少年審判廷や民事や刑事で使用する法廷も見学しました

13時5分
調査面接体験



午前中の少年事例検討を基に
調査官役になって調査面接を体験
しました。

皆さんの感想は…
事例を検討するだ
けではなく、ロールプ
レイ(調査面接)を体
験したことが良かった
です。



14時20分
家事事例検討



子供を持つ夫婦の模擬離婚調停を題材
に①父, 母, 子各々の立場や思い, ②子の
ことを父, 母に考えてもらうにはどうしたらよ
いかについて考えました。



15時50分

裁判官からのメッセージ



実際に家事事件や少年事件を担当している裁判官から、参加者に静かながらも熱いメッセージが伝えられました。参加者から裁判官への質問もありました。

16時10分

座談会



なぜ調査官になったのですか？等、参加者から具体的な質問がありました。

「裁判所は堅いイメージだったけれど、優しいという印象が変わりました。」との感想もありました。



「なぜ調査官を目指したのですか。」との質問に答える調査官。



皆さんの感想は・・・

- ・裁判所自体知っていることが少なかったなので、どんな仕事をしているのか、どういう風に働いているのか知ることができてとても面白かったです。
- ・参加前に見た動画に出てきた、「人に好奇心のある人がこの仕事には似合う。」というフレーズの意味がよく理解できたインターンシップでした。
- ・家庭裁判所調査官は、充実した職業だなと思いました。職業選択の一つとして考えてみたいです。